

東京湾アクアライン連絡道

牛袋高架橋耐震補強工事

交 付 図 書 正 誤 表

東日本高速道路株式会社 関東支社

東京湾アクアライン管理事務所

訂正箇所	正誤区分																																				
<p>特記仕様書 24-10-3 材料及び施工</p>	<p>24-10-3 材料及び施工 (1) 桁内補強工に使用する材料及び種別は下表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="486 392 1396 526"> <thead> <tr> <th>施工内容</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート</td> <td>P 3-2</td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td>鉄筋B</td> </tr> <tr> <td>アンカー工</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 桁内補強工の施工については「構造物施工管理要領」Ⅲ保全編3「コンクリート構造物」及び7「耐震補強」の関連項目の規定によるものとする。 (3) コンクリートの規定は、共通仕様書8-2「構造物用コンクリート」の関係各項の規定によるものとする。 (4) 鉄筋の規定は、共通仕様書8-4「鉄筋工」の関係各項の規定によるものとする。 (5) アンカー工の施工は、本特記仕様書24-4-3「施工」(8)(9)の規定によるものとする。 (6) 金属系アンカーの施工については、「構造物施工管理要領」Ⅲ-6-2-2の関係各項の規定によるものとする。</p>	施工内容	種別	コンクリート	P 3-2	鉄筋	鉄筋B	アンカー工	-																												
施工内容	種別																																				
コンクリート	P 3-2																																				
鉄筋	鉄筋B																																				
アンカー工	-																																				
<p>誤</p>	<p>24-10-3 材料及び施工 (1) 桁内補強工に使用する材料及び種別は下表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="502 1097 1396 1232"> <thead> <tr> <th>施工内容</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート</td> <td>P 3-2a</td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td>鉄筋B</td> </tr> <tr> <td>アンカー工</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 桁内補強工の施工については「構造物施工管理要領」Ⅲ保全編3「コンクリート構造物」及び7「耐震補強」の関連項目の規定によるものとする。 (3) 共通仕様書8-2-3「コンクリートの種別」に下表を追加する。</p> <table border="1" data-bbox="422 1355 1476 1456"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>使用区分</th> <th>使用構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P 3-2 a</td> <td>PC 箱桁の桁内補強コンクリートに使用するもの</td> <td>PC 箱桁の桁内補強コンクリート</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) コンクリート施工管理要領3-2「コンクリートの種類」に下表を追加する。</p> <table border="1" data-bbox="383 1500 1516 1848"> <thead> <tr> <th>コンクリートの種別</th> <th>使用構造物</th> <th>対象の構造物</th> <th>材齢28日における圧縮強度(N/mm²)</th> <th>スランプ(cm)</th> <th>沈下度(秒)</th> <th>空気量(%)</th> <th>粗骨材の最大寸法(mm)</th> <th>セメントの種類</th> <th>最小単位セメント量(kg/m³)</th> <th>最大塩化物量(C1-)(kg/m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P3-2a</td> <td>PC箱桁の桁内補強コンクリート</td> <td>P</td> <td>36</td> <td>15±2.5</td> <td>—</td> <td>4.5±1.5</td> <td>20、25</td> <td>H</td> <td>300</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) コンクリートの規定は、共通仕様書8-2「構造物用コンクリート」の関係各項の規定によるものとする。 (6) 鉄筋の規定は、共通仕様書8-4「鉄筋工」の関係各項の規定によるものとする。 (7) アンカー工の施工は、本特記仕様書24-4-3「施工」(8)(9)の規定によるものとする。 (8) 金属系アンカーの施工については、「構造物施工管理要領」Ⅲ-6-2-2の関係各項の規定によるものとする。</p>	施工内容	種別	コンクリート	P 3-2a	鉄筋	鉄筋B	アンカー工	-	単価表の項目	使用区分	使用構造物	P 3-2 a	PC 箱桁の桁内補強コンクリートに使用するもの	PC 箱桁の桁内補強コンクリート	コンクリートの種別	使用構造物	対象の構造物	材齢28日における圧縮強度(N/mm ²)	スランプ(cm)	沈下度(秒)	空気量(%)	粗骨材の最大寸法(mm)	セメントの種類	最小単位セメント量(kg/m ³)	最大塩化物量(C1-)(kg/m ³)	P3-2a	PC箱桁の桁内補強コンクリート	P	36	15±2.5	—	4.5±1.5	20、25	H	300	0.3
施工内容	種別																																				
コンクリート	P 3-2a																																				
鉄筋	鉄筋B																																				
アンカー工	-																																				
単価表の項目	使用区分	使用構造物																																			
P 3-2 a	PC 箱桁の桁内補強コンクリートに使用するもの	PC 箱桁の桁内補強コンクリート																																			
コンクリートの種別	使用構造物	対象の構造物	材齢28日における圧縮強度(N/mm ²)	スランプ(cm)	沈下度(秒)	空気量(%)	粗骨材の最大寸法(mm)	セメントの種類	最小単位セメント量(kg/m ³)	最大塩化物量(C1-)(kg/m ³)																											
P3-2a	PC箱桁の桁内補強コンクリート	P	36	15±2.5	—	4.5±1.5	20、25	H	300	0.3																											
<p>正</p>																																					